

2024(令和 6)年度 「『授業改善』のための調査」 報告書

柴田学園大学 FD 委員会
[R7.09]

目次

1. 実施方法	2
(1) 実施期間	2
(2) 実施・回収方法	2
(3) 実施科目	2
(4) 調査項目	2
(5) 集計方法	2
(6) 回答率	2
(7) 結果の公表方法	2
2. 結果	3
(1) 各質問項目の回答の平均値	3
(2) 各項目の学科別経年推移（前後期平均）	4
◎学科別の検討	5
(3) 学科別の各学年平均値	6
A) 健康栄養学科	6～7
B) こども発達学科	8～9
C) フードマネジメント学科	10～11
(4) 学年ごとの学科比較	12
(5) 2024(R6)年度調査回答率について	13
(6) 2017(H28)年度からの回答率の推移	14～15
3. 総括と今後の課題	16
4. 付録	17～24

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 Wi-Fi から入力サイトの WEB に接続して行った。

(3) 実施科目

卒業研究、学外実習（および一部その関連）科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4) 調査項目

（付録「授業改善」のための調査用紙 参照）

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。学生自身の授業の取り組み方についての評価 6 項目(項目番号 1~6)、教員の授業についての評価 7 項目(項目番号 7~13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

これ以降、「学生自身の授業の取り組み方についての評価（項目番号 1~6）」を「学生の自己評価(Q1~Q6)」、「授業についての評価（項目番号 7~13）」を「教員の授業評価（Q7~Q13）」と述べる。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。

(6) 回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、2024(令和 6)年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は 61.5%、後期は 48.9%であった。(表 1)。

表 1 「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
2024 年度前期	170	4527	2784	61.5%
2024 年度後期	159	3975	1944	48.9%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。(付録「学生による授業評価アンケート集計結果表(科目別)」参照)

また、全体の集計結果については FD 研修会の場で口頭報告を行い、併せて報告書を作成して学内の教職員に公表する。

2. 結果

(1) 各質問項目の回答の平均値

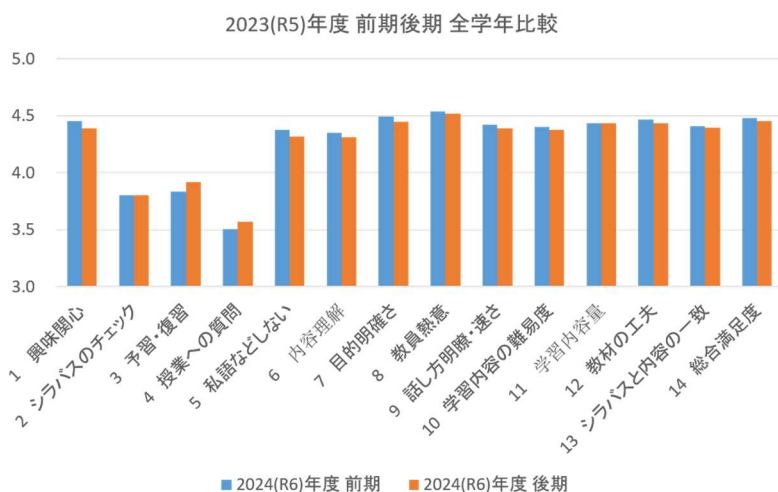
以下に、各質問項目の全体平均の値、及びグラフ化したデータを示す。

	2024(R6)年度	
	前期	後期
1 興味関心	4.5	4.4
2 シラバスのチェック	3.8	3.8
3 予習・復習	3.8	3.9
4 授業への質問	3.5	3.6
5 私語などしない	4.4	4.3
6 内容理解	4.4	4.3
7 目的明確さ	4.5	4.4
8 教員熱意	4.5	4.5
9 話し方明瞭・速さ	4.4	4.4
10 学習内容の難易度	4.4	4.4
11 学習内容量	4.4	4.4
12 教材の工夫	4.5	4.4
13 シラバスと内容の一致	4.4	4.4
14 総合満足度	4.5	4.5

各項目の回答について

質問項目 1～6 は学生の自己評価に該当する部分である。これらの内、項目 2,3,4 が 3.5～3.9 とやや低い値となっている一方、項目 1,5,6 については 4.3～4.5 と高い値になっている。これらのデータを単純に解釈すれば、興味関心はそこそこあるが、シラバスのチェックや予習・復習、授業への質問はあまり積極的に行わない。しかし授業内容は理解できている思っているという学生像が浮かびあがる。

授業内容についての評価である項目 7～14 については 4.4～4.5 と高い値となっていて、学生は授業内容について、それほど大きな不満は持っていないと解釈できる。



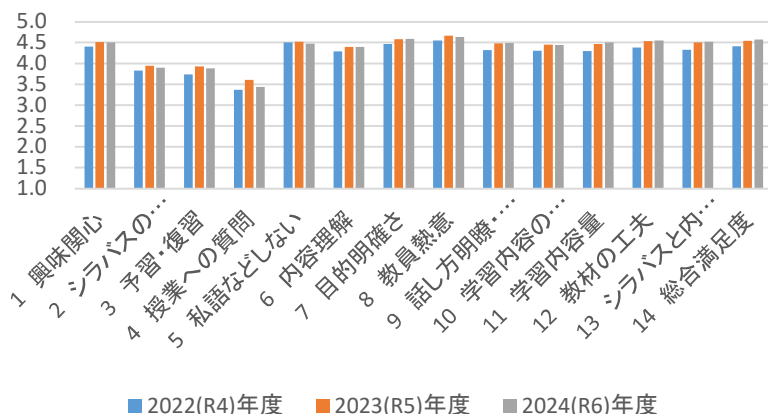
(2) 各項目の学科別経年推移（前後期平均）

各項目の平均値を学科別に集計したものを、2022 年度（令和 4 年度）から 3 年分のデータとして以下にしめす。

	健康栄養学科						こども発達学科						フードマネジメント学科			
	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度		R5 年度		R6 年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 興味関心	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.2	4.4	4.3
2 シラバスのチェック	3.8	3.8	3.8	4.1	4.0	3.8	3.8	3.6	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.5	3.9
3 予習・復習	3.7	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9
4 授業への質問	3.4	3.4	3.5	3.7	3.4	3.4	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	4.0	3.8	3.7	3.7
5 私語などしない	4.6	4.4	4.4	4.6	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.4	4.4
6 内容理解	4.4	4.2	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.0	4.3	4.3
7 目的明確さ	4.6	4.3	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6	4.3	4.5	4.4
8 教員熱意	4.7	4.4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.4	4.6	4.4
9 話し方明瞭・速さ	4.5	4.2	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4	4.6	4.3	4.4	4.2
10 学習内容の難易度	4.4	4.2	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.2	4.4	4.2
11 学習内容量	4.4	4.2	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.3	4.5	4.3
12 教材の工夫	4.5	4.2	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.3	4.5	4.3
13 シラバスと内容の一致	4.4	4.2	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.1	4.2	4.4
14 総合満足度	4.5	4.3	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.3	4.5	4.4

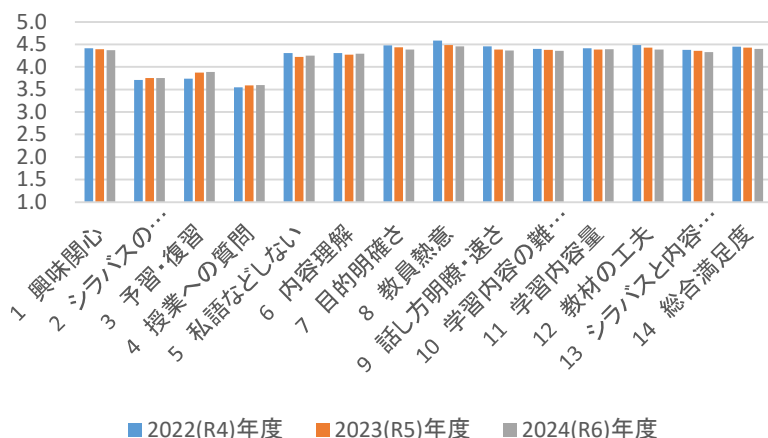
◎ 学科別の検討

健康栄養学科 経年変化



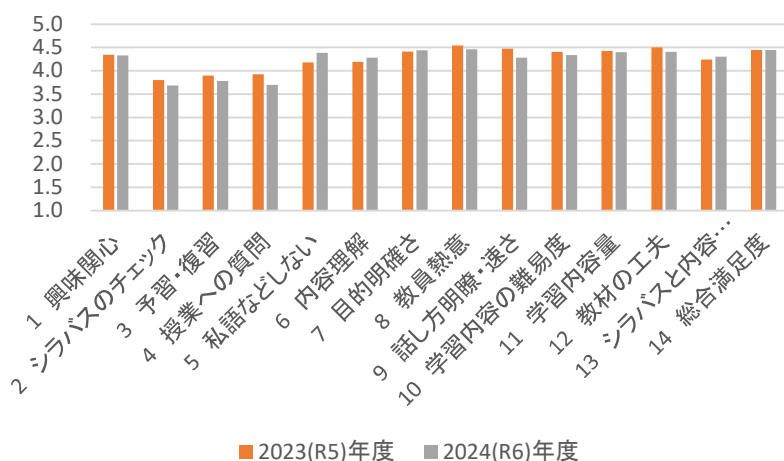
健康栄養学科の経年変化（2022年度～2024年度）を見ると、全体的な傾向として数値は同じもしくは微増している。ただし、例年点数の低い、シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の項目は依然として3点台であり、2023年度に若干の上昇が見られたものが2024年度には少し減少してしまっている。

こども発達学科 経年変化



こども発達学科の数値を年度ごとに比較すると、全体的な傾向としては大きな変化はなく、ほぼ横這いとなっている。シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の項目は3点台と低い値だが、微増傾向ではある。

フードマネジメント学科 経年変化



2023年度新設されたフードマネジメント学科については2022年度のデータがないため、2023年度以降の結果である。

シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問といった項目については2024年度はかなり点数が下がっている事が見て取れる。

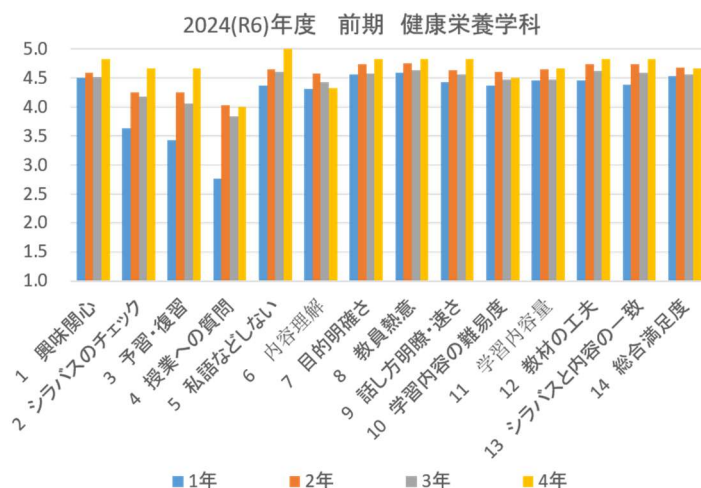
ただし、フードマネジメント学科は他の学科よりも学生数が少ない為、値の変動が激しくなる点には留意が必要である。

(3) 学科別の各学年平均値

学年ごとの傾向を検討するため、各学科各学年の平均値を以下に示す。

A) 健康栄養学科

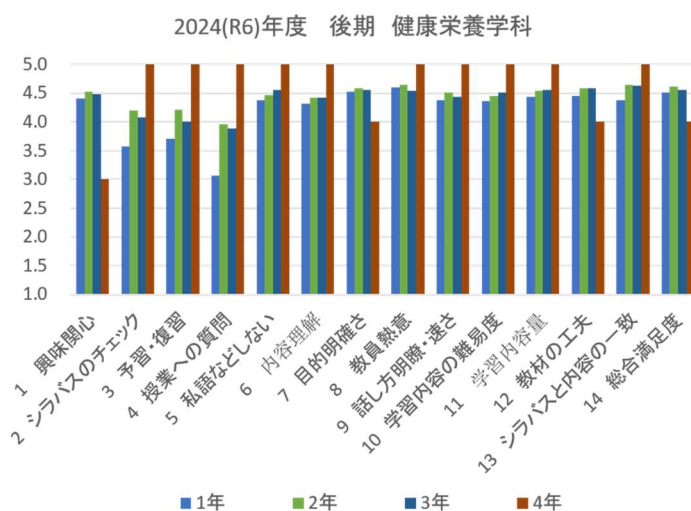
	2024(R6)年度							
	前期				後期			
	健康栄養学科				健康栄養学科			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.5	4.6	4.5	4.8	4.4	4.5	4.5	3.0
2 シラバスのチェック	3.6	4.2	4.2	4.7	3.6	4.2	4.1	5.0
3 予習・復習	3.4	4.3	4.1	4.7	3.7	4.2	4.0	5.0
4 授業への質問	2.8	4.0	3.8	4.0	3.1	4.0	3.9	5.0
5 私語などしない	4.4	4.6	4.6	5.0	4.4	4.5	4.6	5.0
6 内容理解	4.3	4.6	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	5.0
7 目的明確さ	4.6	4.7	4.6	4.8	4.5	4.6	4.6	4.0
8 教員熱意	4.6	4.8	4.6	4.8	4.6	4.6	4.5	5.0
9 話し方明瞭・速さ	4.4	4.6	4.6	4.8	4.4	4.5	4.4	5.0
10 学習内容の難易度	4.4	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	5.0
11 学習内容量	4.5	4.6	4.5	4.7	4.4	4.5	4.6	5.0
12 教材の工夫	4.5	4.7	4.6	4.8	4.5	4.6	4.6	4.0
13 シラバスと内容の一致	4.4	4.7	4.6	4.8	4.4	4.6	4.6	5.0
14 総合満足度	4.5	4.7	4.6	4.7	4.5	4.6	4.6	4.0



<健康栄養学科について>

① 令和6年度前期

シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の3項目について、1年生の点数が著しく低い値となっている。特に授業への質問の項目は、2.8であり、これは他学科を含めて最低の値である。なお、4年生のデータは開講科目が殆ど無く、回答数が極端に少ないため、信頼性に欠ける点は注意が必要である。

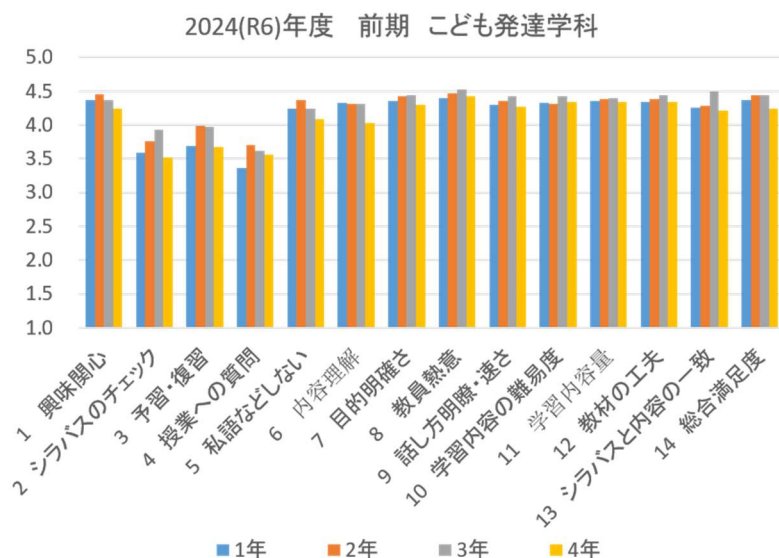


② 令和6年度後期

シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の3項目について、1年生の点数がた学年よりも低い値となっている点は変わらない。ただ、予習・復習、及び授業への質問の点数には改善が見られた。なお、4年生のデータは開講科目が殆ど無く、回答数が極端に少ないため、信頼性に欠ける点は注意が必要である

B) こども発達学科

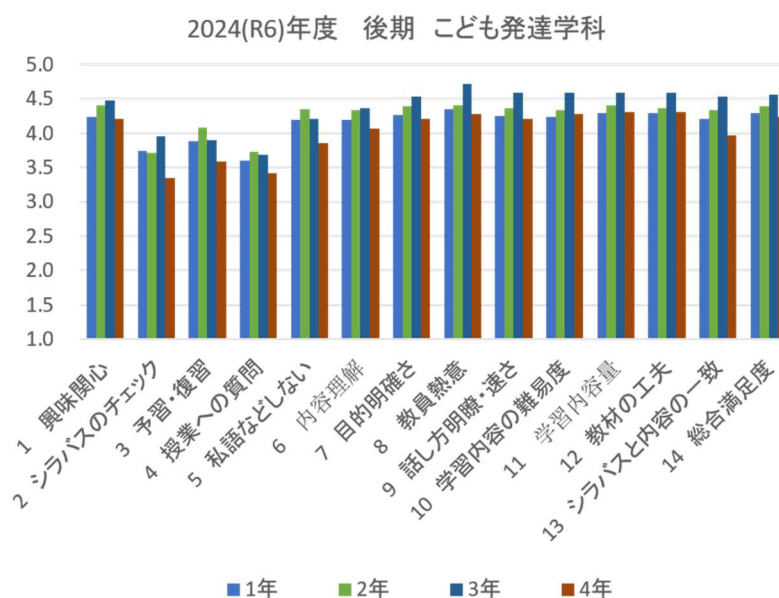
	2024(R6)年度							
	前期				後期			
	こども発達				こども発達			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.4	4.5	4.4	4.2	4.2	4.4	4.5	4.2
2 シラバスのチェック	3.6	3.8	3.9	3.5	3.7	3.7	4.0	3.3
3 予習・復習	3.7	4.0	4.0	3.7	3.9	4.1	3.9	3.6
4 授業への質問	3.4	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.4
5 私語などしない	4.2	4.4	4.2	4.1	4.2	4.4	4.2	3.9
6 内容理解	4.3	4.3	4.3	4.0	4.2	4.3	4.4	4.1
7 目的明確さ	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.2
8 教員熱意	4.4	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4	4.7	4.3
9 話し方明瞭・速さ	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.6	4.2
10 学習内容の難易度	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3	4.6	4.3
11 学習内容量	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	4.3
12 教材の工夫	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	4.3
13 シラバスと内容の一致	4.3	4.3	4.5	4.2	4.2	4.3	4.5	4.0
14 総合満足度	4.4	4.4	4.4	4.2	4.3	4.4	4.6	4.2



<こども発達学科について>

① 令和6年度前期

項目別数値の特徴として1年生は授業への質問について他学年との比較で最低値となっている。多くの項目で4年生が他学年よりも低い値になっているが、4年生は開講科目数の影響で回答数が少ない点には留意する必要がある。



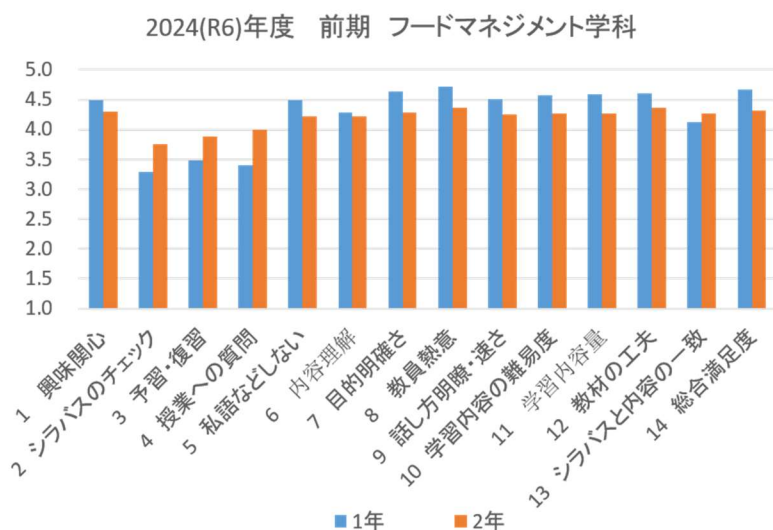
② 令和6年度後期

前期に比べて、シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の項目で、1年生の点数に改善が見られる。また、授業内容に関する項目(7~14)については、3年生の値が他学年よりも明らかに高い。

前期同様、多くの項目で4年生が他学年よりも低い値になっているが、4年生は開講科目が殆ど無く、回答数が少ない点に留意する必要がある。

C) フードマネジメント学科

	2024(R6)年度							
	前期				後期			
	フードマネジメント				フードマネジメント			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.5	4.3			4.5	3.9		
2 シラバスのチェック	3.3	3.8			4.0	3.7		
3 予習・復習	3.5	3.9			4.1	3.7		
4 授業への質問	3.4	4.0			3.8	3.7		
5 私語などしない	4.5	4.2			4.7	3.9		
6 内容理解	4.3	4.2			4.6	3.9		
7 目的明確さ	4.6	4.3			4.6	4.1		
8 教員熱意	4.7	4.4			4.5	4.2		
9 話し方明瞭・速さ	4.5	4.3			4.4	3.9		
10 学習内容の難易度	4.6	4.3			4.5	3.9		
11 学習内容量	4.6	4.3			4.6	3.9		
12 教材の工夫	4.6	4.4			4.6	3.9		
13 シラバスと内容の一致	4.1	4.3			4.6	4.1		
14 総合満足度	4.7	4.3			4.6	4.1		

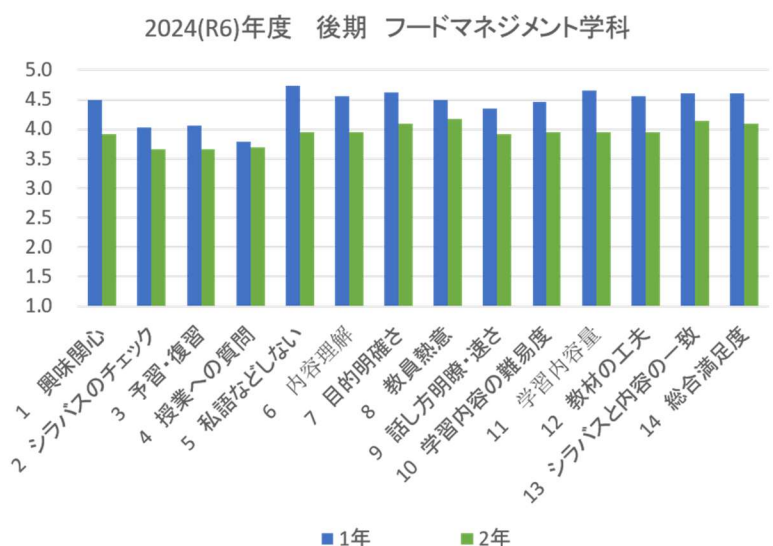


<フードマネジメント学科について>

② 令和 6 年度前期

他学科と同様、シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の項目について、1 年生の点数が低くなっている。

授業に対する評価に該当する項目 7～14 に関して、2 年生の値が低い点は憂慮すべき点と言える。



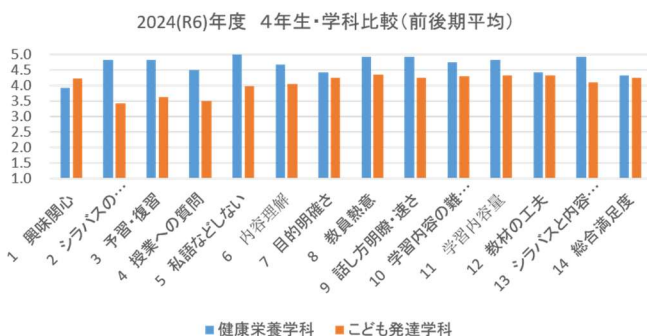
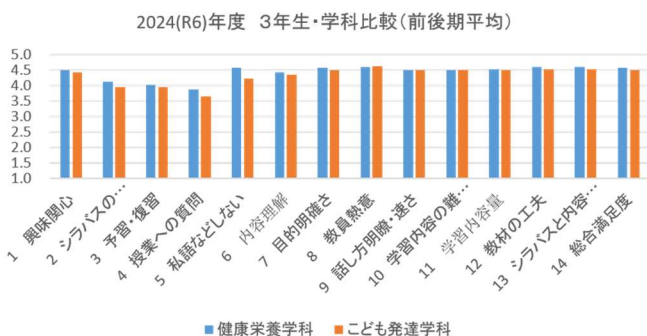
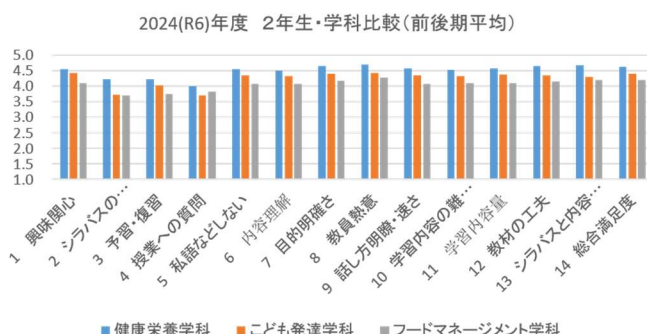
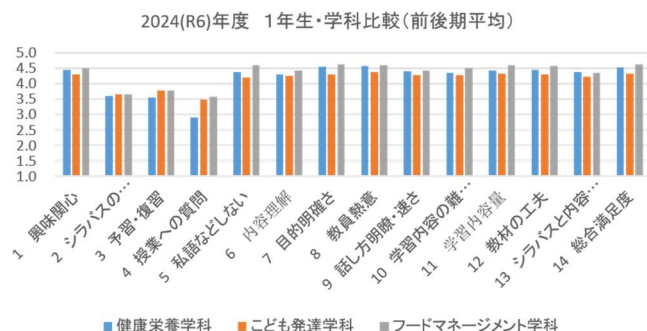
②令和 6 年度後期

シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の項目について、1 年生の値が前期に比べて大きく改善している。

一方、すべての項目について、2 年生の値が 1 年生よりも低くなっている。多くの項目で 3 点台の点数となっている事は憂慮すべき事態だと言える。

(4) 学年ごとの学科比較

学年ごとに各学科の平均値を比較したグラフを以下に示す。



1年生

授業への質問の項目についての健康栄養学科の値が極端に低い結果となっている。また、授業内容に関する項目(7~14)でこども発達学科の値が一貫して他学科よりも低い点が特徴的である。

2年生

全ての項目で健康栄養学科の値が高い。逆に、ほとんどの項目でフードマネジメント学科の値が他学科よりも低い点は懸念点である。

3年生

健康栄養学科、こども発達学科のみの比較であるが、自己評価に関わる項目(1~6)については健康栄養学科の方が高い。ただし、他学年に比べて学科間の差は小さいと言える。

4年生

4年生はカリキュラム上の開講科目自体が少ないため、回答数が少ない。従って、データとして信頼に足るものではない。

(5) 2024 (R6) 年度調査回答率について

アンケート調査の回答率について、以下に学科・学年別の値を示す。

2024 年度前期 授業改善のための調査回収率

	履修者数	回答者数	回答率
1N	678	481	70.9%
2N	524	351	67.0%
3N	393	220	56.0%
4N	80	6	7.5%
N 全学年	1675	1058	63.2%
1C	908	670	73.8%
2C	746	423	56.7%
3C	915	388	42.4%
4C	159	57	35.8%
C 全学年	2728	1538	56.4%
1F	124	104	83.9%
2F	126	84	66.7%
F 全学年	250	188	75.2%
1 年	1710	1255	73.4%
2 年	1270	858	67.6%
3 年	1308	608	46.5%
4 年	239	63	26.4%
全学	4527	2784	61.5%

2024 年度 (R6 年度) 前期

全体として、学年が進むにつれて回答率が下がる傾向がはっきりとしている。特にこども発達学科の減少が大きい。

フードマネジメント学科の値は 2 年生までのものであるが、他学科との比較で高い水準にあると言える。特に 1F の回答率は 83.9%であり、最も高い値を示している。

全学年の回答率の学科間比較では、フードマネジメント学科、健康栄養学科、こども発達学科の順となる。

2024 年度後期 授業改善のための調査回収率

	履修者数	回答者数	回答率
1N	635	437	68.8%
2N	492	206	41.9%
3N	351	98	27.9%
4N	14	1	7.1%
N 全学年	1492	742	49.7%
1C	803	438	54.5%
2C	624	330	52.9%
3C	727	322	44.3%
4C	115	29	25.2%
C 全学年	2269	1119	49.3%
1F	106	48	45.3%
2F	108	35	32.4%
F 全学年	214	83	38.8%
1 年	1544	923	59.8%
2 年	1224	571	46.7%
3 年	1078	420	39.0%
4 年	129	30	23.3%
全学	3975	1944	48.9%

2024 年度 (R6 年度) 後期

全体として、前期の回答率よりも大きく下がり、全学の回答率は 48.9%と、半分をきる結果となった。

特にフードマネジメント学科については、前期に比べて半減に近い減少となっている点は憂慮すべきと言える。

健康栄養学科については、3 年生の回答率が前期から半減した影響もあり、大きく値を下げている。

こども発達学科については、他学科よりも減少幅は少ないが、それでも半分をきる回答率となった。

(6) 2017 (H28) 年度からの回答率の推移

2017 年度から 2024 年度までのアンケート回答率の推移を以下に示す。

「授業改善のための調査」(学生用)回答率

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回収数	回答率
2017 年度前期	155	4423	3752	84.83%
2017 年度後期	125	3535	2794	79.04%
2018 年度前期	149	3952	3299	83.50%
2018 年度後期	126	3104	2201	70.91%
2019 年度前期	139	3606	2667	73.96%
2019 年度後期	130	3194	1934	60.55%
2020 年度前期	132	3525	2148	60.94%
2020 年度後期	122	3055	2034	66.58%
2021 年度前期	130	3560	2495	70.08%
2021 年度後期	124	3333	1573	47.19%
2022 年度前期	136	4179	2564	61.35%
2022 年度後期	125	3631	2156	59.38%
2023 年度前期	157	4487	2935	65.41%
2023 年度後期	145	3859	2169	56.21%
2024 年度前期	170	4527	2784	61.50%
2024 年度後期	159	3975	1944	48.91%

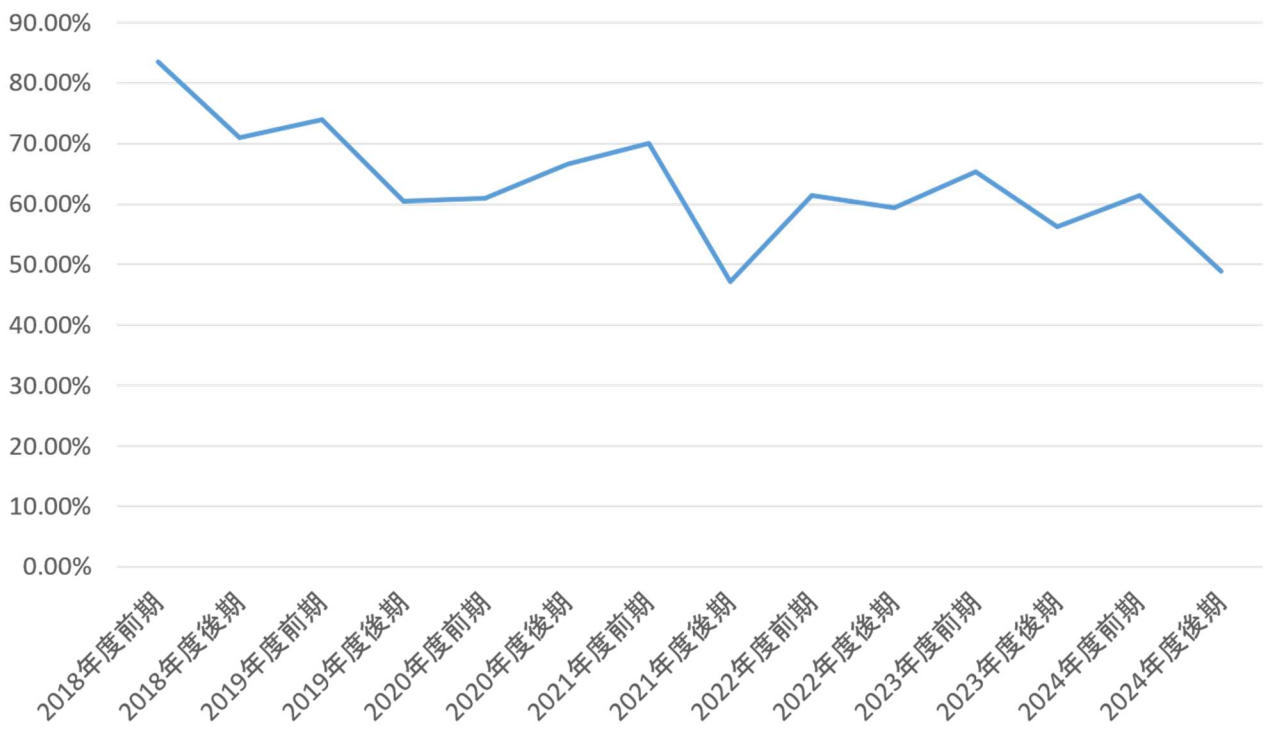
※2017 年度～Web (紙の用紙、講義内調査実施で平均 91%程度)

『授業改善』のための調査は 2017 (H28) 年度より Web 回答を継続実施している。2019 年度を除いて、回答率が 70%台に達したのは 2021 年度前期のみである。例年、前期の回答率のほうが後期より数値は高く、その傾向は 2017 年度から変化していない。

2024 年度も後期の回答率が前期よりも低い点は例年と変わらないが、12.6 ポイントの減少は例年と比べても大きいと言わざるを得ない。また、2024 年度後期の 48.91%という回答率は 2021 年度後期に次ぐ低さである。なお、2021 年度後期はコロナ禍の為、アンケート調査時期にあたる 14～15 回目の授業を急遽オンライン授業に切り替えた影響で回答率が極端に低下した時であるため、実質的には過去最低と言っても過言ではない。

2017 年度からの傾向をみるとアンケート回答率は減少傾向を続けており、憂慮すべき事態だと言える。

「授業改善のための調査」回答率



3. 2024 年度『授業改善』のための調査 報告書の総括と今後の課題

2024 年度に実施した『授業改善』のための調査では、前期・後期共に前年度の回答率を下回る結果となった。特に、後期の回答率は半分を下回り、コロナ禍の影響のあった時期を除いて過去最低となった。

学年別の観点から見ると、シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問など、学生の学習姿勢に関わる自己評価の部分で 1 年生の点数の低さが目立ち、特に健康栄養学科でその傾向が顕著である。なお、2 年生、3 年生ではこの傾向に若干の改善が見られたが、点数そのものは高いとは言えない。

学科別で観点からは、フードマネージメント学科において前期から後期へで間で回答率、及び各項目の点数が低下している点が目立つ。特に 2 年生の授業内容評価（項目 7～14）の値が 1 年生や他学科と比較して明らかに低いことは懸念すべき点と考える。

今後の課題として、アンケート回答率の改善、及び結果のフィードバックの仕組みが挙げられる。フィードバックについては個々の教員に対しては担当科目のアンケート結果の通知という形で行われているが、学科ごとの対応のためのフィードバック手段について検討していく必要があると考える。

4. 付録 (p.17～p.24)

学生による授業改善のための調査

*必須

自分の授業取り組みについての評価

1.授業の内容に興味・関心を持つことができた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

2.この授業のシラバスをよくチェックした*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

3.この授業のために予習・復習をした*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

4.この授業で質問等を積極的にした*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

5.授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

6.総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

授業に対する評価

7.この授業の目標、目的は明確であった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

8.この授業において、教員の熱意が感じられた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

9.教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

10.この授業の学習内容の難易度は適切であった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

11.この授業の学習内容の量は適切であった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

12.この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

13.シラバスと授業内容が一致していた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

総合評価

14. Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

自由記述

この授業の良いと思ったところ、要望等、調査について気づいたことを入力してください

回答を入力

戻る

送信

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、5～10 分程度調査回答のための時間を必ず設けて回答させてください。（講義内で回答時間を設けられなかった場合、学務課までご連絡をお願いします）

学生には事前にメールにて「20**年度 *期 「授業改善」のための調査の実施について」を送信していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、学務

課まで問い合わせるようお願いいたします。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思っております。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。

1. 【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開いてください。（講義室内に掲示の QR コードからも回答できます。）

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「__前期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

（学内の無線 LAN が使用できませんので、講義終了後に各自必ず回答するようお願いいただくか、一般講義室へ移動して回答させてください。）

2. （授業の科目番号、科目名を読み上げて、）この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。

3. 電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

2024年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について

前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答URL: <https://goo.gl/HznaxR> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。

コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「前期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無きように保管してください)

最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で7月31日(水)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: 2024年度 前期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)

※回答確認機能を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。

② 未入力項目があると送信できません。

③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。

④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。

なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。

健康栄養学科

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	開講 クラス
1N	3104	法学	小野昇平	2N	3135	プレゼンテーション論	友田志郎	
	3105	経済学	兼平拓道		3145	時事英語 I	杉本久美子	
	3108	心理学	小林琢哉		3147	ドイツ語 I	齋藤義彦	
	3109	地域活性化論A	市田淳治		3149	フランス語 I	工藤貴子	
	3111	学術と地域を知る	中村光宏、他		3305	健康科学実習	前田朝美	
	3122	化学	飯泉恭一		3310	栄養生理学	飯泉恭一	
	3124	生命科学	友田志郎		3311	基礎免疫学	福井康三	
	3131	論文作文技術 I	船水周		3314	生化学実験	飯泉恭一	
	3133	情報機器の操作 I	奈良拓哉		3317	食品学	富田雅弘	
	3141	英語A I	Fitzpatrick Christopher		3324	調理学実習	山田和歌子	
	3143	英語B I	杉本久美子		3326	基礎栄養学実験	奥野海良人	
	3161	体育 I	神和人		3328	世代別栄養学	小沼奈緒美	
	3302	社会福祉論	齋藤史彦		3342	公衆栄養学	小沼奈緒美	
	3320	調理学	山田和歌子		3345	給食経営管理論	花田玲子	
	3325	基礎栄養学	奥野海良人		3421	健康・食生活論	今村麻里子	
	3333	健康教育論	前田朝美		3432	家庭経営学Ⅱ	工藤孝子	
	3405	おいさの科学	奥野海良人		3461	保育学Ⅰ	福士孝子	
	3406	食品機能学	富田雅弘		3501	家庭科教育法Ⅰ	工藤孝子	
3N	3441	被服学	葛西美樹	4N	3601	教育原理	齋藤雅俊	
	3451	住居学	北原啓司		3602	教職の理解	齋藤雅俊、他	
	3471	栄養士基礎演習	前田朝美、花田玲子、他		3606	教育課程論	森本洋介	
	3602	教職の理解	齋藤雅俊、他					
	3312	微生物学	富田雅弘		3201	卒業論文		実施しない
	3313	解剖生理学実験	飯泉恭一		3349	臨床実習総合演習	前田朝美、他	
	3329	スポーツ・運動栄養学	前田朝美		3350	給食経営管理臨床実習	花田玲子	実施しない
	3332	食行動論	前田朝美		3351	公衆栄養学臨床実習	小沼奈緒美	実施しない
	3337	臨床栄養管理学	伊藤・富樫・佐藤史		3352	臨床栄養学臨床実習Ⅰ	伊藤恵美子	実施しない
	3338	臨床栄養生化学	伊藤恵美子		3353	臨床栄養学臨床実習Ⅱ	伊藤恵美子	実施しない
	3340	臨床科学実験	伊藤恵美子		3614	教育実習(中・高)	教職課程委員会	実施しない
	3343	地域健康栄養学	小沼奈緒美		3616	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田朝美	実施しない
	3347	給食経営管理実習	花田玲子					
	3422	学校栄養教育論	前田朝美					
	3442	被服立体構成実習	工藤孝子					
	3445	被服学実験	葛西美樹					
	3503	家庭科教育法Ⅲ	葛西美樹					
	3603	教育行政	中村恵佑					
	3608	総合的な学習の時間の指導法	齋藤昭					
	3612	教育相談	萩原美紀					

※ 網掛け部分は卒業必修科目

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

《こども発達学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2104	法学	小野昇平		2C	2135	プレゼンテーション論	友田志郎	
	2105	経済学	兼平拓道			2145	時事英語 I	杉本久美子	
	2108	心理学	小林琢哉			2147	ドイツ語 I	齋藤義彦	
	2109	地域活性化論A	市田淳治			2149	フランス語 I	工藤貴子	
	2111	学園と地域を知る	中村光宏、他			2204	教育課程論	森本洋介	
	2122	化学	飯泉恭一			2209	音楽 I	諏訪才子	
	2124	生命科学	友田志郎			2234	ICTの基礎	友田志郎	
	2131	論文文技術 I	船水周			2301	国語 I	船水周	
	2133	情報機器の操作 I	奈良拓哉			2303	社会	大谷伸治	
	2141	英語A I	FitzpatrickChristopher			2312	図画工作A	工藤千華	
	2143	英語B I	杉本久美子			2315	小学体育A	上野秀人	
	2161	体育 I	神和人			2502	子どもの保健	松尾泉	
	2201	家政学原論	工藤寧子			2504	子どもの環境	吉田裕美子	
	2202	教育原理	齋藤雅俊			2505	子どもの言葉	船水周	
	2205	保育原理	安川由貴子			2507	ピアノ表現 I	一戸智之	
	2207	ピアノ基礎 I	一戸智之			2509	造形表現A	工藤千華	
	2211	被服の基礎実習	葛西美樹、工藤寧子			2511	子どもの運動あそび I	小関潤子	
	2212	調理の基礎実習	山田和歌子			2601	保育内容総論	安川由貴子	
	2220	基礎ゼミ I	齋藤雅俊、他			2603	人間関係の指導法	吉田裕美子	
	2231	家庭管理学	宮野洋子			2806	保育の計画と評価	江莉川淳子	
	2232	被服学	葛西美樹			2809	乳児保育 II	福士章子	
	2233	食物学	吉村小百合			2811	社会的養護 I	増田貴人	
	2310	音楽 I	一戸智之、諏訪才子			2813	保育実習指導 I	保育士課程委員会	
	2701	教職の理解	齋藤雅俊、他						
3C	2222	卒業研究 I		実施しない	4C	2145	英語C I	杉本久美子	
	2305	算数	齋藤昭			2224	卒業研究 III		実施しない
	2307	理科	友田志郎			2240	教育史	齋藤雅俊	
	2317	小学英語	杉本久美子			2242	人権教育論	小野昇平	
	2401	国語科教育法	船水周			2243	教育方法演習A	一戸智之、他	
	2402	社会科教育法	大瀬勝彦			2244	教育方法演習B	齋藤雅俊、他	
	2405	生活科教育法	齋藤昭			2708	生徒・進路指導	齋藤昭	
	2408	家庭科教育法 I	工藤寧子			2711	事前事後指導(小)	齋藤昭、小野昇平	
	2409	体育科教育法	上野秀人			2712	教育実習(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2602	健康の指導法	小関潤子			2714	学校教育体験実習 I (小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2604	環境の指導法	佐藤崇之			2801	子ども家庭福祉 I	小野昇平	
	2606	表現の指導法A I	諏訪才子			2807	子ども家庭支援論	安川由貴子	
	2608	表現の指導法B I	工藤千華						
	2702	教育行政	中村恵佑						
	2705	総合的な学習の時間の指導法	齋藤昭						
	2709	子どもの理解と援助	萩臺美紀						
	2710	教育相談	萩臺美紀						
	2716	事前事後指導(幼)	吉田裕美子						
	2717	教育実習(幼)	吉田裕美子	実施しない					
	2816	保育実習指導 II	保育士課程委員会						
《フードマネジメント学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1F	4104	法学	小野昇平		2F	4135	プレゼンテーション論	友田志郎	
	4105	経済学	兼平拓道			4206	消費生活論	兼平拓道	
	4108	心理学	小林琢哉			4207	健康イノベーションを考える	村下公一	
	4109	地域活性化論A	市田淳治			4208	6次産業化論	小笠原敦子	
	4111	学園と地域を知る	中村光宏、他			4309	食品機能学	吉村小百合	
	4122	化学	飯泉恭一			4310	食品化学実験	柳町悟司	
	4124	生命科学	友田志郎			4311	食品衛生学	吉村小百合	
	4131	論文文技術 I	船水周			4313	ライフステージ別栄養学	佐藤瑞穂	
	4133	情報機器の操作 I	奈良拓哉			4314	洋食開発実習	今村麻里子	
	4141	英語A I	FitzpatrickChristopher			4315	発酵学	小笠原敦子	
	4143	英語B I	杉本久美子			4404	フードスペシャリスト論	市田淳治	
	4161	体育 I	神和人			4405	マーケティングリサーチ演習	兼平拓道	
	4201	生活学概論	宮野洋子			4406	食料経済学	兼平拓道	
	4202	食文化論	安田智子			4501	Webデザイン	佐藤ゆかり	
	4203	食育概論	今村麻里子			4502	デジタルメディア基礎	佐藤ゆかり	
	4301	調理学	今村麻里子						
	4302	基礎調理学実習	今村麻里子						
	4303	食品化学	柳町悟司						
	4304	栄養学	奥野海良人						
	4401	フードビジネス論	市田淳治						
※ 網掛部分は卒業必修科目					柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)				

2024年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について

後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力パソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL: <https://goo.gl/aBWDsV> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。
コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「後期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)
最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で2月10日(月)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: 2024年度 後期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)
※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。
② 未入力項目があると送信できません。
③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。
④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。
なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。

《健康栄養学科》

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3101	倫理学	齋藤雅俊		2N	3127	自然科学概論	友田志郎	
	3103	日本国憲法	小野昇平			3146	時事英語Ⅱ	杉本久美子	
	3107	社会学	中村光宏			3148	ドイツ語Ⅱ	齋藤義彦	
	3110	地域活性化論B	小野昇平、他			3150	フランス語Ⅱ	工藤貴子	
	3121	有機化学	奥野海良人			3304	地域健康支援実習	小沼奈緒美	
	3125	数理学	友田志郎			3306	解剖生理学	福井康三、飯泉恭一	
	3126	統計学	小林琢哉			3307	病態別生理学	福井康三	
	3132	論文文技術Ⅱ	船水周			3315	栄養生化学実験	奥野海良人	
	3134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			3316	栄養生理学実験	飯泉恭一	
	3142	英語AⅡ	FitzpatrickChristopher			3322	食品学実験	富田雅弘	
	3144	英語BⅡ	杉本久美子			3330	応用栄養学実習	小沼奈緒美	
	3162	体育Ⅱ	神和人			3331	栄養教育論	前田朝美	
	3301	地域健康支援論	市田淳治			3335	臨床栄養学	伊藤恵美子	
	3303	健康衛生学	田中里奈			3346	給食経営実践論	花田玲子	
	3308	生化学	飯泉恭一			3446	アパレルCAD実習	工藤寧子	
	3309	栄養生化学	奥野海良人			3463	保育学Ⅱ	福士章子	
	3318	食品健康科学	前多隼人			3502	家庭科教育法Ⅱ	林孝子	
	3323	基礎調理学実習	山田和歌子			3604	教育心理学	小林琢哉	
	3327	応用栄養学	熊谷貴子			3607	道德教育の指導法	齋藤雅俊	
	3403	トレーニング科学	佐藤瑞穂			3610	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	森本洋介	
3N	3404	食の心理学	萩臺美紀		4N				
	3446	アパレルCAD実習	工藤寧子						
	3201	卒業論文		実施しない		3615	教職実践演習(中・高)	齋藤雅俊、他	
	3319	食品科学	富田雅弘			3617	教職実践演習(栄養教諭)	齋藤雅俊、他	
	3321	食品科学実験	富田雅弘						
	3334	栄養教育論実習	前田朝美						
	3336	実践介護食事論	伊藤恵美子						
	3339	臨床栄養学実習	伊藤恵美子						
	3341	臨床福祉栄養学実習	伊藤恵美子						
	3344	公衆栄養学実習	小沼奈緒美						
	3348	栄養管理総合演習	伊藤・小沼・花田(玲)						
	3443	被服平面構成実習	葛西美樹						
	3504	家庭科教育法Ⅳ	葛西美樹						
	3605	特別支援教育論	松本敏治						
	3609	特別活動の指導法	齋藤昭						
	3611	生徒・進路指導	齋藤昭						
	3613	事前事後指導	葛西美樹、工藤寧子						
	3617	栄養教育実習(事前事後指導を含む)	前田朝美						

※ 網掛部分は卒業必修科目 柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

《こども発達学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2101	倫理学	齋藤雅俊		2C	2127	自然科学概論	友田志郎	
	2102	国文学	中村光宏			2146	時事英語Ⅱ	杉本久美子	
	2103	日本国憲法	小野昇平			2148	ドイツ語Ⅱ	齋藤義彦	
	2107	社会学	中村光宏			2150	フランス語Ⅱ	工藤貴子	
	2110	地域活性化論B	小野昇平、他			2210	声楽Ⅱ	諏訪才子	
	2121	有機化学	奥野海良人			2235	ICT活用法	友田志郎	
	2125	数理科学	友田志郎			2302	国語Ⅱ	船水周	
	2126	統計学	小林琢哉			2313	図画工作B	工藤千華	
	2132	論文文技術Ⅱ	船水周			2314	家庭	葛西美樹、工藤寧子	
	2134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			2316	小学体育B	上野秀人	
	2142	英語AⅡ	FitzpatrickChristopher			2501	子どもの健康と安全	福士章子	
	2144	英語BⅡ	杉本久美子			2506	子どもの表現	諏訪才子	
	2162	体育Ⅱ	神和人			2508	ピアノ表現Ⅱ	一戸智之	
	2203	教育心理学	小林琢哉			2510	造形表現B	工藤千華	
	2206	保育の心理学	萩臺美紀			2512	子どもの運動あそびⅡ	小関潤子	
	2208	ピアノ基礎Ⅱ	一戸智之			2605	言葉の指導法	船水周	
	2221	基礎ゼミⅡ	齋藤雅俊、他			2704	道德教育の指導法	齋藤雅俊	
	2309	生活	齋藤昭			2707	教育方法・技術(情報通信技術の活用含む)	森本洋介	
	2311	音楽Ⅱ	一戸智之、諏訪才子			2805	子ども家庭支援の心理学	萩臺美紀	
	2503	子どもの人間関係	吉田裕美子			2810	障害児保育	若林一哉	
3C	2223	卒業研究Ⅱ		実施しない	4C	2146	英語CⅡ	杉本久美子	
	2237	児童文化論	吉田裕美子			2225	卒業研究Ⅳ		実施しない
	2241	児童心理学研究法	小林琢哉			2713	教職実践演習(幼・小)	齋藤雅俊、他	
	2403	算数科教育法	齋藤昭			2715	学校教育体験実習Ⅱ(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2404	理科教育法	竹内史宗			2802	子ども家庭福祉Ⅱ	小野昇平	
	2406	音楽科教育法	一戸智之			2818	保育実践演習	安川由貴子	
	2407	図画工作科教育法	蝦名敦子						
	2410	外国語(英語)教育法	杉本久美子						
	2513	子どもの食と栄養	山田和歌子						
	2514	子育て支援	安川由貴子						
	2607	表現の指導法AⅡ	諏訪才子						
	2609	表現の指導法BⅡ	工藤千華						
	2703	特別支援教育論	松本敏治						
	2706	特別活動の指導法	齋藤昭						
	2708	生徒・進路指導	齋藤昭						
	2803	社会福祉	小野昇平						
	2817	保育実習Ⅱ	保育士課程委員会	実施しない					
※ 網掛部分は卒業必修科目									
《フードマネジメント学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1F	4101	倫理学	齋藤雅俊		2F	4127	自然科学概論	友田志郎	
	4102	国文学	中村光宏			4209	食生活環境論	小笠原敦子	
	4103	日本国憲法	小野昇平			4210	栄養とスポーツ	佐藤瑞穂	
	4107	社会学	中村光宏			4211	地域連携論	小笠原敦子	
	4110	地域活性化論B	小野昇平、他			4212	機能的食品素材開発論	吉澤結子	
	4121	有機化学	奥野海良人			4312	公衆衛生学	田中里奈	
	4125	数理科学	友田志郎			4316	食品機能的評価実験	市田淳治	
	4126	統計学	小林琢哉			4317	食品加工学	吉村小百合	
	4132	論文文技術Ⅱ	船水周			4318	食品分析学	吉村小百合	
	4134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			4319	食品衛生学実験	吉村小百合	
	4142	英語AⅡ	FitzpatrickChristopher			4320	和食開発実習	今村麻里子	
	4144	英語BⅡ	杉本久美子			4407	フードテック戦略	市田淳治	
	4162	体育Ⅱ	神和人			4408	食関連法令概論	市田淳治	
	4204	食と健康	奥野海良人			4409	ファイナンス基礎	兼平拓道	
	4205	食育教育論	石塚哉史			4503	Web制作・集客演習	佐藤ゆかり	
	4305	食品学	吉村小百合			4504	デジタルメディア応用	佐藤ゆかり	
	4306	応用調理学実習	今村麻里子						
	4307	微生物学	富田雅弘						
	4308	生化学	飯泉恭一						
	4402	フードマネジメント概論	小笠原敦子						
	4403	マーケティングリサーチ論	兼平拓道						
※ 網掛部分は卒業必修科目									

20**年度 前期 学生による授業改善のための調査 集計結果表 (科目別)

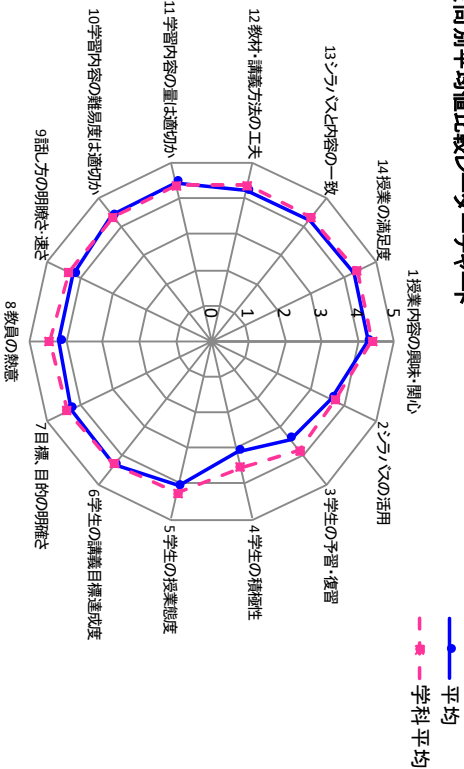
科目番号	2222	対象学科	*年***学科	履修者数	48 名
科目名	*****	授業形態	講義	回答者数	38 名
教員名	〇〇〇〇〇	教員番号	***	回答率	79.2 %

全学平均回答率	61.1 %
---------	--------

○項目別回答分布(人数と平均値)

区分	項目番号	設問文	回答分布(人)					平均	学科平均
			5 よくあてはまる	4 まあまああてはまる	3 どちらでもない	2 あまりあてはまらない	1 まったくあてはまらない		
学生自身の授業の取り組み	1	授業の内容に興味・関心を持つことができた	17	14	7	0	0	4.3	4.4
	2	この授業のシラバスをよくチェックした	11	11	9	5	2	3.6	3.7
	3	この授業のために予習・復習をした	11	5	14	5	3	3.4	3.8
	4	この授業で質問等を積極的にした	9	8	6	8	7	3.1	3.5
	5	授業とは関係のない行為(私語や携帯電話の使用など)をしなかった	14	15	8	0	1	4.1	4.3
	6	総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う	18	14	6	0	0	4.3	4.3
授業についての評価	7	この授業の目標、目的は明確であった	18	14	5	1	0	4.3	4.4
	8	この授業において、教員の熱意が感じられた	16	14	7	1	0	4.2	4.5
	9	教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	14	18	6	0	0	4.2	4.3
	10	この授業の学習内容の難易度は適切であった	20	13	5	0	0	4.4	4.4
	11	この授業の学習内容の量は適切であった	21	13	4	0	0	4.4	4.4
	12	この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた	18	12	7	1	0	4.2	4.4
	13	シラバスと授業内容が一致していた	18	12	8	0	0	4.3	4.3
評価総合	14	Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた	18	14	5	1	0	4.3	4.4

○設問別平均値比較レーダーチャート



○自由記述

自由記述